

Press Release

2026年3月16日

健康経営優良法人 2026「ブライツ 500」に6年連続認定

— 三重県で最多となる認定実績を基に、今後も健康経営を推進 —

専用工作機械メーカーである株式会社光機械製作所（本社：三重県津市、代表取締役社長：西岡慶子、以下、光機械製作所）は、2026年3月9日に発表された「健康経営優良法人 2026」（経済産業省）において、中小規模法人部門で全国上位500法人に与えられる「ブライツ 500」に認定されました。

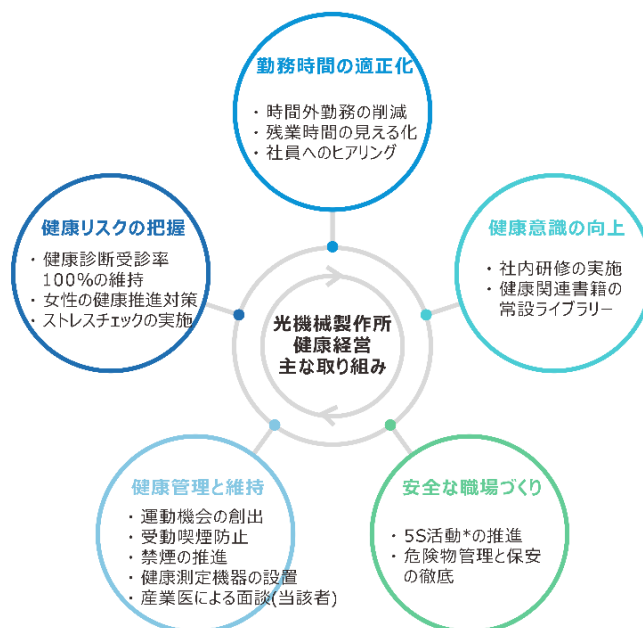
健康経営優良法人認定制度は、優良な健康経営を実践している法人を認定し、さまざまなステークホルダーが社員の健康管理という視点からも法人を評価できるよう2016年度に創設されたものです。

当社は、人材を重要な成長ドライバーと位置づけ、社員の個性や多様性を尊重し、自己実現に資するキャリア形成や能力開発に取り組んでいます。また、社員一人ひとりがやりがいを持って活躍するためには、まず心身ともの健康が不可欠として、さまざまな取り組みを強化しながら健康経営を進めてきました。

こうした取り組みが評価され、2019年に健康経営優良法人（中小規模法人）に、2021年には同制度に新設された「ブライツ 500」に認定されました。今回、「ブライツ 500」には三重県内から10法人が認定され、当社は、三重県内では最多となる連続6回目の認定を受けたことになります。

当社で健康経営の推進を担当する総務部の田中浩子係長は、社内浸透の工夫などについて次のような取り組みを実施しています。

「社内での意識の差を埋めていくため、朝礼での声かけや社内報や掲示板での周知など工夫をしています。昨年は、社内アンケートで女性の健康へのケアに改善の余地があるとの声が見られたことから、様々な対策を新たに導入しました。今後も、社内での“ニーズや誰でも取り組みやすい”健康に良いこと”を探しながら、全員が無理なく参加できる環境づくりを進めていきたいと思ひます」



*5S活動：
「睡眠」「食事」「運動」「ストレス」「喫煙・飲酒」から、四半期ごとに全社員が各自のテーマに基づいて目標を設定。目標達成率80%となった人数に応じて、会社が非営利団体へ寄付を実施する社員の健康増進と社会貢献をつなげた取り組み。

Press Release

また、当社の西岡慶子代表取締役は、健康経営の意義について次のように考えています。

「当社の人材戦略は、“3G+1”という Gender（性別）・Generation（年代）・Global（国籍）、そして Gakureki（学歴/文理）にとらわれず、個々の能力ややる気を重視するという考え方に基づいています。健康経営はその土台をつくる重要な取り組みであり、今後は社会的責任という側面に加えて、成長戦略の一部としてさらに重要度を増してくると考えています。また、ブライツ 500 の認定の実績を生かして、中小企業の健康経営のモデルケースを示せるよう引き続き尽力していく方針です」

「健康経営優良法人 2026」については、下記の経済産業省のサイトをご参照ください。

<https://www.meti.go.jp/press/2025/03/20260309002/20260309002.html>

(株)光機械製作所について

三重県津市を本拠とする専用工作機械メーカー。主な業容は、研削盤をはじめとする工作機械と切削工具の製造、並びに超短パルスレーザーによる微細加工。創業 1946 年、従業員数 90 名（パートを含む/2026 年 3 月 1 日現在）。「Be professional! : プロ意識に徹する」を基本理念に、80 年蓄積された技術とノウハウ、そしてダイバーシティー経営の推進により、顧客に新価値を提供できる高精度・高品質なモノ作りを目指している。2007 年、経済産業省「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業 300 社」、2014 年経済産業省「ダイバーシティー経営企業 100 選」、2015 年 APEC 閣僚会議で「APEC 女性活躍推進企業 50 選」（日本から 5 社選定）に選定された他、2019 年に経済産業省「健康経営優良法人」に認定、2021 年から 2026 年まで「健康経営優良法人ブライツ 500」に連続 6 回認定されている。

ホームページは、<http://www.hikarikikai.co.jp/>